

神島で確認されたシロヘリハンミョウ

長谷川道明*・桜丘高等学校生物部**

A New Record of *Callytron yuasai yuasai* (Nakane, 1955)(Coleoptera, Cicindelidae)
from Kamishima Island, Mie Prefecture, Japan

Michiaki Hasegawa* and Biology Club of Sakuragaoka High School**

はじめに

シロヘリハンミョウ *Callytron yuasai* (Nakane, 1955) は、岩礁を伴う海浜を生息地とするハンミョウで、我が国では千葉県を北限とした本州、四国、九州、対馬、屋久島、種子島、黒島に名義タイプ亜種が分布し、伊豆諸島とトカラ列島以南の南西諸島にそれぞれ別亜種が分布する。日本本土を主な分布域とする名義タイプ亜種は、生息に適した海岸の消失や環境の悪化により各地で絶滅が心配されており、東海地方では愛知県、三重県ともに絶滅危惧 I B 類（愛知県環境調査センター編，2009；三重県環境森林部自然環境室編，2006）に指定されている。

筆者らは、2013 年 7 月 27～28 日にかけて生物調査のために鳥羽市神島を訪れた際、同島より記録のなかった本種を確認することができたので報告する。

三重県下では、市橋（1954）が賢島から記録したのが最初である。その後、市橋ほか（1959）は志摩郡和具（現・志摩市志摩町和具）から 1933 年に採集されていた標本を見出して報告し、乙部（2000）は 1990 年に志摩郡浜島町塩屋と度合郡南勢町田増浦から確認した記録を報告、今村・市橋（2007）は答志島から記録した。名義タイプ亜種の生息環境とされる岩礁を伴う海浜が広く続く三重県においても、本種の生息が確認されているのは志摩半島と伊勢湾口の島嶼に限られている（三重県環境森林部自然環境室編，2006；生川ほか，2011）。なお海岸線を持たない岐阜県においては偶産、誤認を含めて記録はない。

以上のように本種は、東海地方においては三河湾口から伊勢湾口にかけての沿岸と島嶼から記録があるが、古いものが多く、現存生息地は限られるものと推測される。

東海地方のシロヘリハンミョウの記録について

愛知県下で初めて本種を記録したのは、神谷（1956；1961）で、篠島の西海岸に多産すると報告している。次いで丹ほか（1960）は篠島の属島の木島から、高柳・藤原（1985）は佐久島から、浅岡（1987）は伊良湖岬からそれぞれ記録した。篠島、伊良湖岬については、その後何度か追加調査が試みられているが、いずれの地域でも再確認がされていない（大平，1973；浅岡，1991；山崎・浅岡，1993 など）。

記 録

[標本]
4♂♂ (TMNH-I-26933～26936), 8♀♀ (TMNH-I-26937～26944), 鳥羽市神島古里の浜, 27～28-VII-2013, 長谷川道明ほか採集。豊橋市自然史博物館保管。

[生息状況に関する知見]

神島は、周囲 3.9 km の島であるが、海岸線のほとんどは人工物か切り立った崖になっており、本種の生息

* 豊橋市自然史博物館。Toyohashi Museum of Natural History, 1-238 Oana, Oiwa-cho, Toyohashi, Aichi 441-3147, Japan.

** 桜丘高等学校。Sakuragaoka High School, 2-1-11 Minamiushikawa, Toyohashi, Aichi 440-8516, Japan.

原稿受付 2013 年 10 月 30 日。Manuscript received Oct. 30, 2013.

原稿受理 2013 年 11 月 7 日。Manuscript accepted Nov. 7, 2013.

キーワード：シロヘリハンミョウ，神島，三重県，東海地方，絶滅危惧種。

Key words : *Callytron yuasai*, Kamishima Island, Mie Prefecture, Tokai region, threatened species.



第1図．シロヘリハンミョウ．



第2図．生息地の景観．

の可能性があるのは島の南西部に限られる．この地域を踏査したところ，古里の浜の南端部で本種の成虫を確認した（第1図，第2図）．本種が見られたのは，100 m 程度の狭い範囲で，多くの個体は，岩礁上より湿った砂浜上で活動していた．低密度ながら同所的にエリザハンミョウが見られた．

付 記

同島からの帰路，似た環境がある田原市の日出の石門付近の海岸において本種の探索を行ったが，残念ながら本種を発見することはできなかった．

謝 辞

三重県の記録についての文献情報を頂いた鈴鹿市の

生川展行氏，文献の入手に便宜を図って頂いた豊橋市の浅岡孝知氏に厚くお礼申し上げる．

引用文献

- 愛知県環境調査センター編，2009．愛知県の絶滅のおそれのある野生動物レッドデータブックあいち 2009，－動物編－，愛知県，649 p.
- 浅岡孝知，1987．シロヘリハンミョウ伊良湖岬に産す．三河の昆虫，**34**：229.
- 浅岡孝知，1991．渥美半島の昆虫相．伊良湖，(19)：1-48.
- 市橋 甫，1954．三重県の興味ある数種の甲虫の分布について．日本昆虫学会東海支部ニュース，(1)：11-12.
- 市橋 甫・的場孝郎・大川親雄，1959．三重県産ハンミョウ科目録．ひらくら，**3** (4)：44-45.
- 今村隆一・市橋 甫，2007．鳥羽市答志島の甲虫類（バタ目・ハチ目を含む）．三重自然誌，(11)：45-57.
- 神谷一男，1956．南知多・渥美・蒲郡地方に産する昆虫類．三河湾自然公園調査報告書，愛知県，50-61+2 pls.
- 神谷一男，1961．東海地方の珍しい昆虫．名古屋鉄道，名古屋，74 p.
- 三重県環境森林部自然環境室編，2006．三重県レッドデータブック 2005 動物．三重県，498 p.
- 生川展行・中山 惇・岡 由佳理・横関秀行・稲垣政志・官能健次・市川 太，2011．志摩半島の甲虫．生川展行（編），志摩半島の昆虫－三重県昆虫談話会創立 55 周年記念事業－，三重県昆虫談話会，鈴鹿市，66-195.
- 乙部 宏，2000．志摩半島のシロヘリハンミョウ．ひらくら，**44** (4)：58.
- 大平仁夫，1973．採集されなくなった三河の甲虫 2 種．三河の昆虫，**4**：15.
- 高柳久和・藤原優年，1985．佐久島で採集された特記すべき昆虫．虫譜，**23** (2)：5-6.
- 丹 信實・岸井 尚・塚本圭一，1960．日本列島周辺の小島嶼の生物地理学的研究（第 2 報）三重県（志摩国）神島及び愛知県（三河国）渥美湾の小島嶼群．平安高校教育研究会々報，**4**：1-126.
- 山崎隆弘・浅岡孝知，1993．三河湾島の昆虫．自費出版，豊橋，470 p.